

浅羽学園袋井市立浅羽北小学校学校だより

はばたけ

光と大地の子

2学期始業式の式辞より

校長 金原 正巳



おはようございます。今朝、校門で久しぶりに皆さんの元気な姿を見ることができました。「たった一つの命を大切に守る」を守り2学期を迎えられたことを、うれしく思います。

35日間の夏休みが終わりました。計画にしたがって学習したり生活したりすることができましたか。前半はよい天気の日が続きましたが、後半は雨降りや増え続けるコロナウイルス感染症の対応により、家族や友達との楽しい予定ができなかった人もいたかもしれません。

私が、今年の夏休みで忘れられないのは、東京オリンピックです。日本は過去最高のメダル数を獲得しましたが、皆さんが感動した場面はどこでしたか。静岡県出身の選手が活躍した卓球や、野球・ソフトボールでしょうか。それとも、13歳の選手が金メダルを獲得したスケートボードかもしれませんね。メダルを獲得した選手のカも立派ですが、ほとんどの選手がインタビューの中で、コロナウイルスの流行の中でオリンピックを開催してくれたことや家にいながらも温かい応援をしてくれたことに感謝の気持ちを述べていました。こうした選手の姿に感動しました。



もう一つ、感動した場面がありました。それは、開会式の中のアトラクションで、パントマイムのパフォーマーたちが演じて話題となったピクトグラムです。このピクトグラムは今から57年前の東京オリンピックから採用されたそうです。言葉が分からない外国の人でも、一目で何の競技の会場であるかが分かる絵文字です。文字で伝えなくても情報を伝えたり注意を呼び掛けたりすることができるので、その後、障害者向けの設備を示す「車椅子マーク」や「非常口マーク」など、世界に広まったピクトグラムもあります。ピクトグラムは、言葉だけでなく、国や性別、年齢、障害のあるなしにかかわらず分かりやすいユニバーサルデザインの発想です。学校も、ユニバーサルデザインの考えの下で弱い立場の人の気持ちに寄り添い、誰もが安心できる場所を目指したいですね。

さあ、2学期が始まります。運動会や学年の校外学習などの行事がたくさん予定されています。しかし、コロナウイルス感染症が広がらないように静岡県に「緊急事態宣言」が出されたので、普段の授業や生活は、これまでと同じようにはできません。オリンピックの選手たちは応援する人がいない中でも一生懸命に競技をしました。また、障害をもった方々のパラリンピックも始まりました。ハンデに負けずに、カー杯取り組む姿が見られると思います。皆さんも、コロナウイルスに負けないように、これまで以上に新しい生活様式を守りながら、学習の課題に向かって一生懸命に取り組みましよう。また、みんなが安全で楽しく過ごせるためのアイデアを出し合いながら学校生活を送ってください。2学期も「気づき・考え・実行」する子を目指して頑張ります。

